

海外経験をオールイングリッシュで高校生たちへ ～北海道グローバル人材育成キャンプ～



R1. 8月に開催された「北海道グローバル人材育成キャンプ」(道教育委員会主催)で、スポーツコース第1期生の齋藤雄大さんと、学生留学コース第2期生の立岩文武さんが講師として登壇しました。このキャンプは全期間英語で進行し、北海道のグローバル化を担う人材の育成を目的として全道4地域で開催されています。

齋藤さんは道北会場(北見)で、自身の留学生活や英語学習のモチベーションの維持の方法について講演しました。

また、立岩さんは道央会場(札幌)で、留学を通して変わったことを講演したほか、「留学により得られるもの」などをテーマにグループワークを行い、自分たちの後に続く道内の高校生たちに、海外挑戦での体験や学びの大切さを伝えました。

ワインと料理のコラボレーション！ ～鶴居村での基金生共同による初イベント～

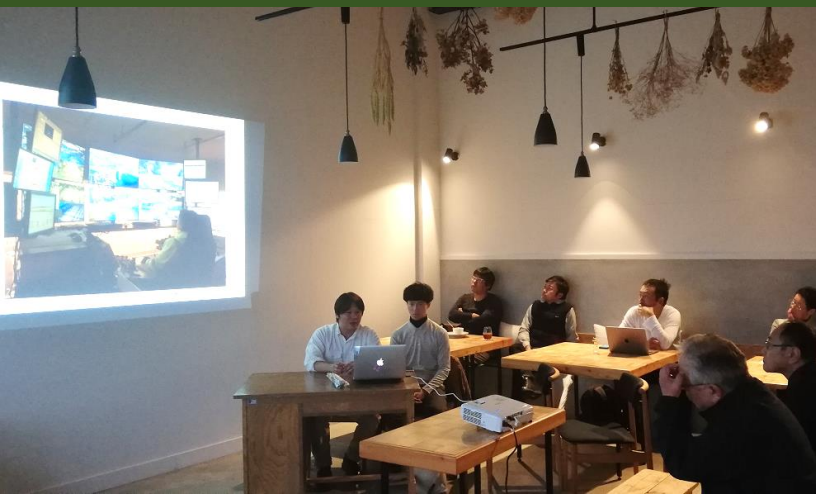


R1. 8月に開催された「農泊推進セミナー「食と観光」を考える in 鶴居村」で、第1期生の高橋さんと第2期生の服部さんが、留学体験の報告等を行いました

服部さんからは、「イタリアで培った技術を活かし、今後は地元食材を活かした料理を提供するなど、道産食材の素晴らしさを伝えていきたい」と抱負があり、高橋さんからは、「北海道らしい個性的なワインづくりに貢献するため、ワインと地元食材の組み合わせの面白さを伝えていきたい」と抱負がありました。

その後、服部さんがシェフを務めるレストランに会場を移して交流会を開催し、鶴居村の食材を活かした料理を提供するとともに、高橋さんは、メニューに合わせて選定した道産ワインの説明を行いながら、観光団体関係者、地元酪農家の方々と、情報交換を行いました。

ウッドプログラムを終えて ～木材研究、木造建築物建設プロジェクト報告会～



R1. 10月に開催された浦幌町林産振興会青年部主催の勉強会で、第2期生の林さん、鴻野さんが、留学体験の報告を行いました

鴻野さんからは、留学先のアアルト大学で使われていた木材加工機械や、加工技術等について説明し、林さんからは授業の課題や、駅待合室の設計プロジェクトでの取組を、作業工程の写真を用いながら説明しました。

勉強会の最後には参加者と質疑応答を行い、ウッドプログラムのように、木に関する知識、建築技術から実際の施工まで、体系的に学び経験できる機会が日本にはないことや、日本とフィンランドの木造建築の工法の違いなどについて、両名から話がありました。